

将来像 I 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

重点戦略 — 2 個性を活かした文化と学術の地域づくり

〔ねらい〕

人口減少・超高齢化という局面を迎え、地方の活力を維持・向上させる上で地域特性の有効な利活用が一層重要となってきています。

全国的にも極めて高い大学等の高等教育機関の集積、先人が築き上げてきた歴史や伝統文化の蓄積という大きな特性を活用して地域の活性化を進めるとともに、国際化に伴う多文化との共生・交流の推進により、個性的で魅力溢れる地域づくりを目指します。

1 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力を、全国に向けて発信します。

- (1) 高等教育機関の集積を活かした「地域の知の創造拠点」の機能強化を推進するため、高等教育機関の「学び」の環境を充実します。
- (2) 高等教育機関の地域貢献による「地域の活性化」を推進するため、高等教育機関と地域との連携や地域ニーズに合わせた教育・研究を推進するとともに、学生と地域の交流促進を図ります。



施策の概要



2 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造に取り組みます。

- (1) 兼六園周辺文化の森の整備などにより、文化施設等の利活用促進と文化芸術活動の裾野の拡大を図ります。
- (2) 新たな文化の創造に向け、文化芸術を担う人材・団体の育成と活動機会の充実を図ります。また、文化ボランティアの育成など県民の参画を拡げます。
- (3) 伝統文化の継承・発展に取り組むとともに、地域における歴史的文化遗产の掘り起こしと県民と一体となった保存・活用に努めます。
- (4) 学校教育における子ども向けの体験学習の充実や芸術家・学芸員の学校派遣、様々な文化芸術鑑賞の機会の充実など、子どもから高齢者まで文化芸術に親しむ機会を充実します。



施策の概要

3 世界に開かれた多文化の共生と交流を推進します。

- (1) 友好交流地域(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)をはじめとした世界の各地域との多様な交流を進め、本県での滞在経験者とのネットワークづくりなどにより、フェイス・トゥ・フェイスを基本とした県民参加による幅広い国際交流を推進します。
- (2) 在住外国人が生活しやすく、地域コミュニティに参加できる環境づくりなどにより、住民と在住外国人が共生・交流する社会を目指します。
- (3) また、増加する在住外国人やビジターに対応するため、民間国際交流団体のネットワーク化や行政との連携・協働体制づくりを進めるとともに、青少年の海外留学や国際交流を支えるリーダーの養成などを推進します。また、県民の国際理解を促進するためのシンポジウム等の開催に取り組みます。



施策の概要



1 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力を、全国に向けて発信します。

(1) 高等教育機関の集積を活かした「地域の知の創造拠点」の機能強化を推進するため、高等教育機関の「学び」の環境を充実します。

- ① 「大学コンソーシアム石川」を核とした、高等教育機関の「学び」の環境の充実を図ります。
 - 県民対象の公開講座や単位互換授業、インターンシップ、高校生を対象とした授業など、高等教育機関相互や企業などとの連携プロジェクトの促進により学びの環境の充実を図ります。
 - 大学コンソーシアム石川の活動拠点の整備を推進します。
- ② 高等教育機関の研究者による学术交流の促進を図ります。
 - 金沢大学や北陸先端科学技術大学院大学など、県内の高等教育機関の研究者が開催する国内・国際学会やシンポジウム等により学术交流を促進します。

(2) 高等教育機関の地域貢献・地域との交流による「地域の活性化」の推進を図ります。

- ① 高等教育機関と地域との連携による研究者や学生の力を活用した地域づくり・交流を促進します。
 - 学生主体の交流イベントや学生の地域貢献活動への参加による地域づくり・交流を促進します。
 - 高等教育機関による地域課題に対応した調査研究に対する支援を充実します。
- ② 石川県立看護大学での保健・医療に関する人材養成と地域貢献の推進を図ります。
- ③ 石川県立大学での地域ニーズに合致した研究等と人材育成等による地域貢献の推進を図ります。
 - 大学院を開設し、職員と大学院生が一体となって、地域から要望されるテーマについて研究を進めます。
 - 大学院では、社会人も受け入れるなど、幅広くより高度で専門的な知識を有する人材の育成を進めます。

公開講座を受ける社会人
(公開講座「いしかわ学」)



大学の教授が高校に出向いて行う授業を受ける高校生
(出張オープンキャンパス)



地域と学生の交流フェスティバル



七尾市沢野地区でのごぼう収穫に汗を流す学生
(学生プロジェクト)



県民へのメッセージ

- ◎高等教育機関の研究者や学生の力を活用した地域づくり・交流を促進し、「地域の活性化」に繋げるために、地域と高等教育機関の積極的な交流、連携が期待されます。
- ◎大学では、公開セミナーなどを開催し、研究成果を報告していきながら、技術移転には産業界が重要な役割を果たします。



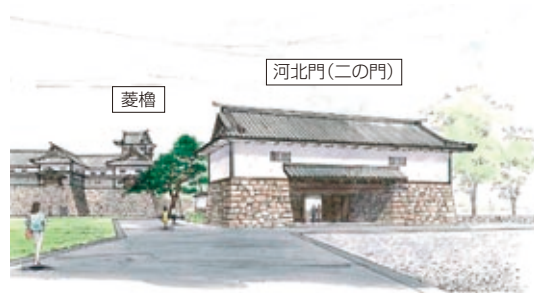
2 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造に取り組みます。

(1) 魅力ある兼六園周辺文化の森を創出します。

① 兼六園周辺文化の森の整備などにより、文化施設等の利活用促進と文化芸術活動の裾野の拡大を図ります。

- 金沢城公園の整備を進めます。
- 県庁跡地の整備を進めます。

- 美術館・石川近代文学館など文化施設のリニューアル整備を進めます。
- 兼六園周辺文化の森の回遊性を向上させます。
- 文化施設の連携強化や利便性の向上、展覧会活動の充実などを図ります。
- 歴史的建築物の保存・活用に努めます。



河北門の復元予想図



県庁跡地整備イメージ図

(2) 新たな文化の創造に向けた、文化芸術活動の支援に努めます。

① 新たな文化の創造に向け、文化芸術を担う人材や団体を育成するとともに活動の機会を充実します。

- 様々な文化芸術分野における活動機会の充実に努めます。
- オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽文化を国内外に発信します。
- 文化諸団体の文化芸術活動を支援します。
- 若手芸術家を支援するなど、長期的視点に立つ

て人材を育成します。

② 県民の文化芸術活動を支援するため、文化ボランティアを育成します。

- 文化ボランティアを養成するため研修を実施します。
- 文化ボランティアが活動する機会の充実に努めます。

(3) 伝統文化の継承・発展や文化遺産の発掘・保存・活用に努めます。

① 伝統文化の継承・発展と、歴史的文化的遺産の掘り起こしとその保存・活用を図ります。

- 子ども謡・狂言体験教室など子どもの伝統芸能の鑑賞機会の拡大や体験参加型の企画を充実します。

- 地域の伝統文化を継承し、発展させるとともに後継者の育成を図ります。
- (財)前田育徳会尊経閣文庫の所蔵品について特別展示を充実するとともに、当面は尊経閣文庫分館等の設置に、将来的には尊経閣文庫の誘致に向けた環境を整備します。

- 近代化遺産^{※1}など未指定の文化財の掘り起こし、加賀橋立の伝統的建造物群や真脇遺跡など文化財の保存・活用、無形(民俗)文化財の伝承者の育成を進めます。



加賀橋立 伝統的建造物群



真脇遺跡の発掘調査

- 埋蔵文化財センターにおける埋蔵文化財の出土品等の保存と積極的な公開・活用を図ります。

② 世界遺産登録への取組みを進めます。

- 地元の市や推進団体と連携し、金沢の文化遺産群や白山の世界遺産登録に向けた取組みを進めます。

③ 金沢城調査研究と国内外への情報発信を行います。

- 「金沢城の変遷と構造」の解明をめざし、金沢城調査研究所において、城下町との関連を含めた総合的な調査研究を進め、その成果を国内外に発信します。



金沢城の石垣 (菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓)

④ 山中漆器・九谷焼・輪島塗等の伝統工芸の熟練した技の伝承に向け、後継者の確保と養成を支援します。[重点戦略4 ⑥(2) 参照]

⑤ 兼六園を文化財庭園として保全し、次世代に継承していきます。

⑥ 歴史的建造物や伝統的な街並みの保存、歴史的な道筋の整備など地域と一体となった美しい街並み景観の形成を推進します。

- 地域の特色を生かした個性的な景観の形成に向け、住民参画による街並みづくりを推進します。

(4) 全ての県民が文化芸術に親しむ機会を充実します。

① 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の県民が文化芸術に親しむ機会を充実します。

- 子どもを対象とした体験学習の充実や芸術家・

- 学芸員を学校へ派遣するほか、優れた美術品等による出前講座の充実を図ります。
- 文化施設と生涯学習機関が連携して、生涯学習の機会と場の提供を行います。

県民へのメッセージ

- ◎伝統に裏打ちされた一級文化と歴史の集積は、本県の個性であり大きな魅力となっており、豊かな人生を育み、地域に活力を与えてくれます。
- ◎文化芸術活動に親しむとともに、趣味や特技などを生かして社会に貢献しながら、積極的に人生を楽しむ文化ボランティアの活動に参加していただくことを期待しております。

※1 近代化遺産とは、近代的手法(例:従来の木造中心から、鉄・ガラス・煉瓦・コンクリートなどの材料を用いたもの)によって幕末から第二次世界大戦期までの間に建設され、我が国の近代化に貢献した産業、交通、土木等に係る文化財



3 世界に開かれた多文化の共生と交流を推進します。

(1) 県民参加による幅広い国際交流を推進します。

① 友好交流地域(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)をはじめ、世界の各地域との多様な交流を進め、これまで培ってきたネットワークを充実します。

- 友好交流地域等において、本県での滞在経験者とのネットワーク化を進める「石川県応援団(石川クラブ)」を設立します。
- 青少年の相互交流により、ブラジル等の海外の県人会とのつながりを強化します。(海外移住者が設置する県人会は、ブラジル、マナウス、アルゼンチン、ハワイにあります)
- 経済、観光、文化等の交流に加え、繊維、福祉、環境等の特定分野における各地域との交流を進めていきます。

② 教育や環境など、地域のリソース(資源)を活用した国際協力・貢献を推進します。

- 北陸の国際協力・貢献の中核機関であるJICA北陸支部との連携を強化します。
 - ◆教育・研究機関と連携した海外技術研修員の受け入れ、伝統文化の体験プログラム開発、国際協力事業への派遣などを進めます。
 - ◆中国・江蘇省への環境協力など、環境分野における国際協力に積極的に取り組みます。
- 海外からの技術研修員を受け入れるための国際的な研修施設の誘致に取り組みます。
- JICA等と連携し、自治体職員の国際協力事業への派遣を促進します。

③ 本県の個性と持ち味を活用した交流を促進します。

(2) 在住外国人も参加する多文化共生・交流社会づくりを進めます。

① 留学生など、在住外国人に開かれた地域社会づくりを進めます。

- 日本語・日本文化研修センターの機能を充実し、日本語・日本文化研修のメッカを目指します。
 - ◆「石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム」受講生の倍増を目指します。
 - ◆「石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム」修了者を中心とした「いしかわ同窓会」の活用を図ります。



研修生による日本文化体験

○国際交流イベントの開催などを通じて、これまで整備してきた国際交流施設のさらなる利活用と在住外国人との交流を促進します。

- ◆石川県国際交流センター(H8設置)
- ◆石川県留学生交流会館(H9設置)
- ◆石川県国際交流ラウンジ(H10全面改築)
- ◆日本語・日本文化研修センター(H12設置/国際交流センター内)
- ◆石川国際交流サロン(H14設置)

○海外からのビジターや在住希望者が総合的な相談ができる「国際ビジターズセンター(仮称)」の設置構想を検討します。

○行政と経済団体、学術、医療、防災、教育等の機関と在住外国人が連携し、本格的な共生・交流

社会づくりを進めます。

- 生活情報誌の発行支援やボランティア等による相談体制の強化などにより、在住外国人の身近な生活を支えます。
- 奨学金や就職支援などにより、留学生受け入れの環境整備の充実を図ります。

② 在住外国人の地域コミュニティ等への参加を促進します。

- 市町との国際交流イベントの開催や伝統文化や季節行事などを体験するミニツアーの実施を通じ、在住外国人の地域社会への参加による県民との相互理解を促進します。



国際交流フェスティバル

在住外国人数(外国人登録者数) 9,965人(H17.12月末)で、10年前の約1.6倍

(3) 民間国際交流団体の充実と国際社会に通用する人材育成を進めます。

① 民間国際交流団体の充実を促進します。

- 「いしかわ国際交流団体ネットワーク(仮称)」を設置するなど、民間交流団体相互の情報の共有化を推進します。
 - ◆能登・金沢・加賀の地区ごとに定期的な懇談会を開催し、意見交換や情報共有の場とします。

本県の民間交流団体数 約150団体(H17.3月現在)

② 国際社会に通用する人材の育成と県民の国際理解を進めます。

- 外国語指導助手(ALT)等とのチーム・ティーチングを取り入れたり、地域に住む外国の人た

- ちとの協力を得たりしながら、小学校の段階からの国際理解教育を推進します。
- 地域の国際交流を支えるリーダーを養成するための専門講座「いしかわ国際交流塾(仮称)」を設置します。
- 青少年の海外留学や外国語でコミュニケーションできるボランティア・自治体職員の育成を進めます。
- 国の機関との連携等により、国際理解講座やシンポジウムの開催などに取り組みます。
- 知識・経験豊かな高齢者など、草の根交流を支える新たな人材の発掘を進めます。

県民へのメッセージ

- ◎近年、本県を訪れ、あるいは県内で暮らす外国人と直接触れあうことが日常的になってきています。
- ◎こうしたことから、地域社会の一員として、県民一人ひとりが国際理解を深め、異なる国籍や考えを持つ人々と共生していく心を育むとともに、国際交流活動に積極的に参加・協力していくことを期待しております。